

は し が き

北海道農業の安定と農作物の増産に優良品種の普及がもたらす影響は極めて大きいことはいうまでもない。

近年、育種技術の進歩により各作物の優良品種の作出が著しく多く、これらの特性についての照会があとを絶たない現状である。

当試験場では昭和2年（北海道農事試験場）に引続き昭和27年に優良品種の解説を發表したが、今回、昭和28年度以降に決定をみた優良品種を一括解説するから、前回発行とあわせ品種選定の参考に供されれば幸いである。

昭和 35 年 3 月

北海道立農業試験場長

秋 濱 浩 三

農作物優良品種の解説

この解説は、昭和27年11月発行の同誌に登載以降優良品種に決定したものについて、品種の来歴、育成経過ならびに特性概要などについて、北海道農業試験機関における試験調査の成績にもとづき、技師嶋山御二に編さんさせたものである。

試験成績を引用した農業試験機関名は次のとおりである。

北海道立農業試験場	種芸部
同	渡島支場
同	上川支場
同	十勝支場
同	北見支場
同	根室支場
同	天北支場
同	宗谷支場
同	空知支場
農林省北海道農業試験場	作物部
同	作物部作物第4研究室(島松)
同	作物部てん菜研究室
同	特用作物第3研究室(遠軽)
同	畜産部
同	農芸化学部泥炭地研究室(美唄)